

富山県武道館

富山県武道館整備基本計画(令和2年4月)から抜粋

第2 施設のコンセプト

老朽化した県営富山武道館、県営高岡武道館がこれまで果たしてきた役割を踏まえ、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進、富山県の魅力を高め、地域活性化や賑わい創出に寄与する拠点づくりの必要性を踏まえて、武道館機能を有する多目的施設のコンセプトを、以下のとおり設定した。

- ① 武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設
- ② 県民のスポーツ振興・健康増進に寄与する施設
- ③ 魅力あるイベントによる地域活性化、防災力の向上等に寄与する施設

施設コンセプト

- ① 武道競技の振興・競技力向上 ② スポーツ振興・健康増進 ③ 地域活性化・防災力向上

施設の役割

- 富山県の武道の拠点となる施設
- 武道以外のスポーツ大会も開催できる施設
- 武道競技の公式大会が開催可能な施設
- 県民の日常的なスポーツ利用、冬場のスポーツの場となる施設
- 日常の稽古や指導者講習会、研修会で利用しやすい施設
- 県民の健康増進に寄与する施設
- スポーツイベントや文化イベントの開催など富山県の賑わい創出に寄与する施設
- 地域の防災力を高める施設

- 5Gなど最新技術が武道競技やスポーツ振興、地域活性化、防災力向上等に活用できる施設

第5 施設整備にあたり考慮すべき事項

(5) 最新技術の利活用への配慮

5GやICTなど最新技術を利用することにより、例えば、これまでになかったスポーツ大会等の観戦環境をつくり出したり、オンラインコーチングなど遠隔地と連携して競技力向上に資するコンテンツを施設利用者に提供できるようにするなど、他の武道館にない特長を有し差別化を図る必要がある。

このため、将来さまざまな技術が実用化されていくことを踏まえて、これらの技術を導入できるような通信基盤やインフラを敷設できるような施設計画上の工夫などの配慮が必要である。

第6 事業費と整備スケジュール

2 事業スケジュール(予定)

令和5年度夏頃の開館を目指す。

高岡テクドーム別館

高岡テクドーム別館整備基本計画(令和2年7月)から抜粋

1 機能の拡充等の方向性(概要)

(1) 展示に係る施設・機能の充実

- ・展示場(別館)を現駐車場北側に設置
- ・展示場(別館)は、1,000席程度(できれば最大1,200席程度)の多機能型として整備

5G回線を活用し、大展示場と展示場別館で大型催事を同時進行で行うなど、2館体制となるメリットを最大限に活用する。

eスポーツの大規模大会の開催、パブリックビューイング、バーチャル技術と連携した産業展示など、5Gの大容量通信等の特性を活かす大画面・高精細映像装置等多様なイベント等に対応可能な映像・音響装置を導入する。

(2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

- ・展示場(別館)にもものづくり産業の発信・体験施設を併設

(3) その他

- ・地場産工芸品等を別館の建具等に可能な限り活用
- ・現施設の機能強化も検討
- ・2022(R4)年度末に予定される北陸新幹線敦賀開業に向けて整備

5 施設整備(イメージ)



【展示場】(2,000㎡程度)

【集客・交流施設】(1,200㎡程度)